

1 義務教育学校水橋学園(後期課程)

校章



所在地 富山市水橋中村地内

電話 未定

FAX 未定

ホームページ 義務教育学校 水橋学園

検索



QRコード

開校年月日 令和8年(2026)4月予定

学校のあらまし

本校は、富山市初の義務教育学校として、令和8年4月に開校します。校章は、水橋学園の「水」をモチーフにし、先進的で柔軟な教育を行う学園であることを表しています。また、中心の縦線は水橋を流れる白岩川をイメージし、未来の大海原へ向かう子どもたちに「生きる力」を培う学校教育を推進することを示しています。

義務教育学校とは、平成28年度に制度化された学校です。一人の校長、一つの教職員組織で、9年間の教育課程を実施するので、9年間を通じて、同じ教職員組織による児童生徒の授業や他の活動を実施することができるため、継続的で柔軟な教育活動が可能です。また、小・中学校の一体化によって継続的な生徒指導体制が可能となり、一人一人の子どもに全教職員の目が行き届くことにつながります。

本校は、学校選択制によって後期課程から入学することが可能です。

教育目標

【校訓】 自主(すすんで)
協調(ともに)
壮健(たくましく)

【学校教育目標】(案)

「多様な人とつながりながら、
自らの可能性を発揮し、
自己実現を図る子どもの育成」

令和8年度入学生が入部できる部活動

- 【運動部】
- 陸上競技(男女)
 - バスケットボール(男女)
 - ソフトテニス(女子)
 - 卓球部(男子)
- 【文化部】
- 吹奏楽
 - 美術
 - 英語

学校行事(後期課程について)

(現在実施が予定されているもののみ記載)

- 校外学習(7、8年)、修学旅行(9年)
時期や行程は未定。
- 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」(8年)
- 体育大会(7～9年)
後期課程の生徒のみで実施。前期課程は「運動会」として1～6年生で実施。
- 学習発表会(7～9年)
前期課程の児童と合同で実施。
- 9年生を送る会
卒業を迎える9年生に向けて、1～8年生が計画し実施。

生徒数

(令和7年5月1日現在)

	1年	2年	3年	特別支援	合計
男子	38	58	46	5	147
女子	35	33	39	2	109
合計	73	91	85	7	256
学級	3	3	3	2	11

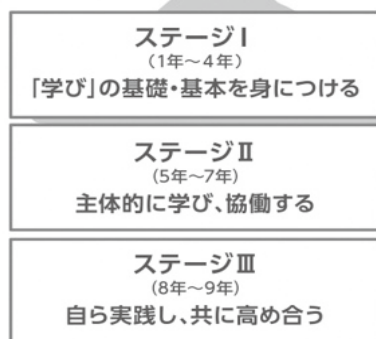
※水橋中学校と三成中学校の合計人数です。

実施予定の特色ある取り組み

- 水橋学
水橋地区の人・もの・こと・自然・歴史等を視点とした探究的な学習に取り組みます。水橋地域について学ぶことにとどまらず、他地域と比較したり関連づけたりするなど、相対的にとらえることで、実社会についてより総合的に学びます。
- 英語学習の充実
様々な授業やそれ以外の場面で英語に慣れ親しむことをねらいとした「イマージョン的教育」を実施します。通常のALTとは別に、「イマージョン担当ALT」を配置する予定です。
- 「自主タイム」の設定
毎日の朝と帰りに加え、週3回、昼に「自主タイム」の時間を設けます。一日の見通しや目当てを確かめたり、一日のくらしを振り返り、次の日に向けて家庭で取り組むことも含めた課題を決めたりします。さらに、自分で設定した学習や探究活動等にも取り組みます。
- 5、6年生を対象とした「ブレ部活動」の実施
前期課程の児童が、部活動を自由に選んで体験します。活動人数を確保できることや、生徒に「先輩」としての自覚が促され、責任感が育まれるなどの教育的効果が期待できます。

<グランドデザイン>

多様な人とつながりながら、
自らの可能性を発揮し、
自己実現を図る子どもの育成



自己実現

校訓(案)
自主(すすんで)
協調(ともに)
壮健(たくましく)

具体的な
教育活動

1.問題解決的な
学習の充実

2.水橋学
水橋を知り、水橋に学び、
水橋に貢献する学習

3.ICTの活用

4.英語学習の充実
1年生からスタート
イメージの教育

5.段階的な
教科担任制

方向性

発達段階を踏まえた9年間の学びを
充実させる教育課程の編成

一人一人の子どもを主語にする
活動を展開する学校づくり

コミュニティ・スクールによる
地域との連携強化

イエナプラン教育の理念やエッセンス ～すべての人はユニーク～

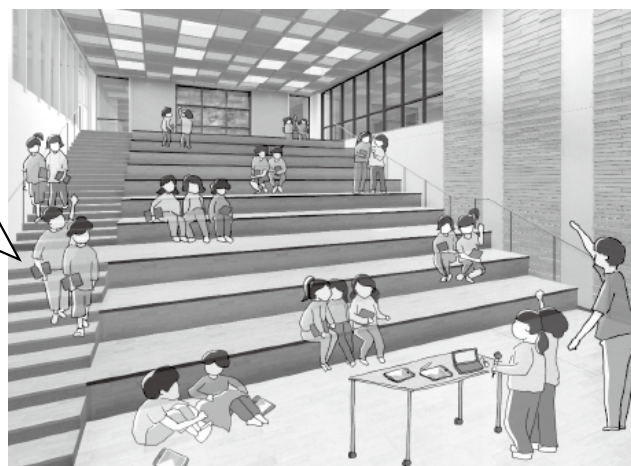


<施設全景>

敷地内には大きなグラウンドやテニスコートのほか、体育館下には雨天時にも運動できる人工芝の全天候型ピロティが設けられています。また、普通教室や特別教室へのエアコン設置のほか、前・後期用の2つの体育館にも、市内の学校初となるエアコンを整備するなど、児童生徒がのびのびと学ぶことができる環境が整っています。

<階段教室>

スクリーンとプロジェクタを活用することで、学習発表や外部講師による授業等、幅広い学習活動が可能です。また、側面には地元とやまの杉の木を使ったモザイク壁を設置することで、木の温もりを感じられる空間としています。



<図書室>

校舎の中心に2層吹抜けの開放的な空間として整備し、上級生と下級生の交流を深め、互いの学習意欲を高める工夫をしています。また、学びのスタイルの多様化に合わせて、読書を楽しんだり、静かに自習したりすることができるスペースが確保されています。

※記載内容については令和7年5月1日現在の予定であり、今後変更する可能性があります。